

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【公表番号】特表2016-534199(P2016-534199A)

【公表日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2016-536492(P2016-536492)

【国際特許分類】

C 0 9 K	11/61	(2006.01)
C 0 9 K	11/08	(2006.01)
H 0 1 L	33/50	(2010.01)
F 2 1 V	9/16	(2006.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)

【F I】

C 0 9 K	11/61	
C 0 9 K	11/08	G
H 0 1 L	33/50	
F 2 1 V	9/16	1 0 0
F 2 1 Y	115:10	1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月15日(2017.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の式I

$A_x [M F_y] : M n^{4+}$  (I)

(式中、AはLi、Na、K、Rb、Cs、R<sub>4</sub>又はそれらの組合せであり、MはSi、Ge、Sn、Ti、Zr、Al、Ga、In、Sc、Y、La、Nb、Ta、Bi、Gd又はそれらの組合せであり、RはH、低級アルキル又はそれらの組合せであり、xは1、2又は3であって [M F<sub>y</sub>]イオンの電荷の絶対値であり、yは5、6又は7である。)のMn<sup>4+</sup>ドープ蛍光体の色安定性を改善する方法であって、

式Iの蛍光体をヘキサフルオロケイ酸を含む溶液で処理する工程と、

未処理の蛍光体に比べて色安定性が改善された処理後の蛍光体を単離する工程とを含む方法。

【請求項2】

溶液が式A<sub>x</sub>[M F<sub>y</sub>]の塩をさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

溶液がフッ化水素酸を含まない、請求項1記載の方法。

【請求項4】

溶液がフッ化水素酸をさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項5】

蛍光体を高温でフッ素ガスに曝すことをさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項6】

MがSi、Ge、Sn、Ti、Zr又はそれらの組合せである、請求項1記載の方法。

**【請求項 7】**

Mn<sup>4+</sup>ドープ蛍光体がK<sub>2</sub>SiF<sub>6</sub> : Mn<sup>4+</sup>である、請求項1記載の方法。

**【請求項 8】**

式K<sub>2</sub>SiF<sub>6</sub> : Mn<sup>4+</sup>の複合フッ化物化合物の色安定性を改善する方法であって、蛍光体をヘキサフルオロケイ酸を含む溶液で処理する工程と、未処理の式K<sub>2</sub>SiF<sub>6</sub> : Mn<sup>4+</sup>の蛍光体に比べて色安定性が改善された処理後の式K<sub>2</sub>SiF<sub>6</sub> : Mn<sup>4+</sup>の蛍光体を単離する工程とを含む方法。

**【請求項 9】**

溶液がK<sub>2</sub>SiF<sub>6</sub>をさらに含む、請求項8記載の方法。

**【請求項 10】**

溶液がフッ化水素酸を含まない、請求項8記載の方法。

**【請求項 11】**

溶液がフッ化水素酸をさらに含む、請求項8記載の方法。

**【請求項 12】**

蛍光体を高温でフッ素ガスに曝すことをさらに含む、請求項8記載の方法。